

第3回やないづ学校運営協議会 熟議の記録 ( 柳津小 ) 部会

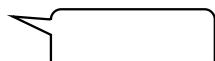
ア「『目指す子どもの姿』実現にむけた取組」

焦点化・重点化した内容	取組状況・児童生徒の様子	今後の課題・取組等
郷土愛について	<p>(芸術) 斎藤清美術館にそれぞれの学年が鑑賞にいっている。</p> <p>体験活動を通して郷土食についての興味を持たせていくことが大切。子どもたちが興味を持って好きになるような郷土食との出会い方が大切。</p> <p>(郷土食) 柳津産の食材を使った給食の献立。 ホームページなどでの紹介。 生産者といっしょに給食を食べる。</p> <p>やがて柳津を出て戻った時に、柳津の食べ物っておいしいなという郷土食を教えていく必要がある。その中で出てきたのが「水」で、「水」は身近で体験しやすい。</p>	<p>柳津の風景は本当にきれいなので、これからも大切にしていきたい。</p> <p>みしらずの柿のつくり方を学ぶ機会があってもよいのではないか。作り方の工夫や苦労、食べるという体験だけをするのではなく、ストーリーを理解し、学ぶ理由を明確にし、児童が主体的に学ぶような機会にする。</p> <p>「大清水」のつながり、田んぼ、稻、生き物調査、只見川など水のつながりを意識した郷土愛について取り組んでいきたい。</p>
広報の具体策（いつ、どこで、だれが、どのように）		
児童生徒へ	取組等の状況	今後の課題・取組等
保護者・家庭へ		
地域へ		

イ 各学校、地域ならではの課題解決（観光、防災、安全、少子化等）

校長が特に協議を求める内容	取組等の状況	今後の課題・取組等
各学校、地域ならではの課題等	解決に向けた取組・全体で協議したいこと等	
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のお祭りや行事、おはやしなどの後継者がいない。人が集まる機会をきっかけに地域も学校も入りやすい環境作りをしていきたい。</li><li>・メディアコントロール週間がかたちだけになってきている。子ども達が主体的に取り組んでいけるような工夫が必要なのではないか。</li></ul>		

「読書に親します」という話し合いは、途中で終わってしまったが、「ノーメディア」という言葉が子ども達の中で抵抗があるので、「イエスマディア」という向き合い方、メディアの使い方や向き合い方について、子ども達が主体となって考えていくような取り組みも必要である。



は、部会後の全体協議で報告された内容。